

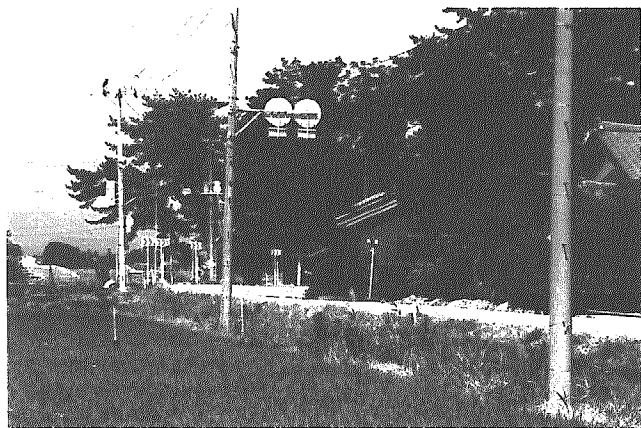
# シリーズ 40 富岡 優しさと明るさが絆

■今月の「おじゃまします」—地域情報ネットワーク—

は10戸と少ないながらも、地区内の「まとまり」は最高という富岡地区におじゃましてみました。

岩室村で唯一、国道116号の東端にあって、巻町と吉田町をつなぐ、ちょうどポイントのよう位置しているところ、ここが大字富岡地区です。

区長さんは、今年からこの役を引き受けたという川上敏夫(56歳)さんです。



農業を中心とする富岡地区。さすが地区周辺の環境は抜群です。

「なにせ、戸数が10戸、人口が59人という規模の小さな地区自治体ですので、特徴とか自慢する様なことはありませんが、しいていえば「地区意識のまとまり」ですね。このことは他に誇っていいと思ってるんですよ」と静かに話す言葉からは実直な人柄が感じられる川上区長さん。

その昔は、馬堀村に所属していた関係もあって隣りの巻町馬堀とは行政区を越えた交流があります。国道が通り、和納12区が開発され、ようやく和納が近くに見えるようになった反面、遠くに弥彦山、多宝山が直線的に開ける景観も、国道沿線の発展とともに失われてきており、喜んでいいのか、憂いていいのか、時代の変遷を感じるといういま。

「和納小学校が目に見えるところに移転完成しましたがね、地区民あげてよろこんでいます。地理的にみて国道によって遮られていくような恰好になっていきましたが、このことよって、心の面でも距離が一挙に縮まったような思いですね」と本当にうれしそうです。昔から農業を軸にした環境は変わらず、農事研究会の「栄農会」は歴史と伝統を保ちながら重要な役割を果たしてきています。「農業に対する取り組みを、みんなで知恵を出し合って成果を高めた」ということが発端でないかと思うんですが、この伝統はしつ



小さな地区ながら神社は立派なもの



富岡区長 川上敏夫さん (56歳)

かり根づいており、今では地区を引っぱる大きな力になっていきますね。まあ、小さな組織ですからこうでもしないと他とは対抗できませんから……。」と謙遜しながらも、この会には大きな期待を寄せています。

このほか、老人クラブや婦人会、子ども会などの活動も結構活発で、特に、今春高校に行った二人が春の高校陸上で健闘したことは自慢であり誇りにもなっているようで、是非とも紹介したいとのことでした。

「地区に残っている素朴な年中行事や慣習などについて、時代にそぐわないからといって、なんでもやめてしまふのは簡単ですがね、本来の意味とかよさを見極めて、それを現代に生かし、調和させていく努力というか、工夫というか、そんな小さな心づかいがことのほか大切になってきている時世でないでしょうか。今は、心の時代ですからね」という区長さんの一言には共鳴させられました。

一人一人の優しさと、明るさが絆になって、すばらしい邑(むら)大字富岡でした。

富岡地区  
ミニデータ  
(人口と世帯)

人口	世帯
59人	10世帯

(平成3年6月1日現在)

## 路上樹木の伐採にご協力ください。

これから海水浴シーズンを迎え、交通量がグリーンと増えてきます。それに比例して交通事故の多発が予想されます。



ところで、村内を見渡すと路上に樹木や庭木がとびだし、通行の障害となっている箇所が多く見られます。そこで、交通事故を未然に防止するため、皆さんのご家庭で庭木などが路上へとびだしている場合は伐採するなど、管理手入れにご協力をお願いします。

## 7月は、不正改造車を排除する運動月間です

運輸省では、昨年に引き続き今年も6月1日から今年31日までの二カ月間にわたり、「不正改造車を排除する運動」を展開しています。自動車を改造したり、過積載のために不法改造したりすることは、道路交通に危険を及ぼすだけでなく、他人に迷惑をかけることとなり認められていません。住みよい地域社会をつくるために、不正改造車の排除について、皆さんのご協力とご理解をお願いします。